

講義名	ホテル事業経営論			授業形態	
担当教員	久保 泉	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

本授業では、ホテル事業を労働集約型サービス産業として捉え、限られた労働資源のもとで、いかに付加価値を創出し、労働生産性を高めるかという視点から、ホテル経営の仕組みと管理手法を体系的に学ぶ。
 宿泊・料飲といった部門運営から、収益管理、管理会計、顧客管理、人材管理までを横断的に扱い、ホテル経営が経験や努力量の多寡ではなく、価値を生む活動に人・時間・空間といった資源をどのように配分するかという経営判断の集合体であることを理解する。
 実務事例を交えながら、ホテル事業における経営課題を生産性と付加価値の観点から考察し、経営的思考力の養成を目指す。

到達目標

- ・本授業を通じて、受講者は以下を達成できることを目標とする。
- ・ホテル事業における労働生産性と付加価値の関係を説明できる
- ・ホテル経営を構成する主要な管理領域とその役割を説明できる
- ・ホテルの経営課題を、生産性および付加価値の観点から分析し、改善案を提示できる

提出課題

毎回授業後にミニットペーパーの提出を求めます。
 期末レポート(ホテル事業計画の視点から論述、1000字程度)の提出を求めます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

提出されたミニットペーパーの中から質問、コメントに対して、次回授業においてフィードバックします。

評価の基準

ミニットペーパー(40%)、期末レポート(40%)
 以下の点において評価します。
 ・授業で取り上げたキーワードを正しく理解し、述べられているか。
 ・課題に対して自分自身の考えが論理的に述べられているか?
 授業における積極的な発言(質問、意見等)を歓迎し、評価する。(20%)

履修にあたっての注意・助言他

この授業はホテルのサービスについて学ぶ授業ではなく、ホテルの見えないところで何をどのように管理しているのかを理解することを目的としています。将来、宿泊業界での活躍を検討している学生は、宿泊業界の理解を深めるために、是非履修して頂きたい。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.なし。					
------	--	--	--	--	--

その他

教員作成の資料に基づいて授業します。

授業計画

- イントロダクション**
 ホテル事業、経験や努力量の多寡として捉えるのではなく、限られた資源をどのように配分するかという経営視点から考える。
 予習内容：シラバスを読み、本講義の主題、授業概要、1到達目標等を理解した上で出席する(120分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(120分)
- ホテル業界の現在地**
 人手不足が深刻化する中で、付加価値の向上と労働生産性の向上が同時に求められる業界構造を理解する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- ホテルの1日**
 ホテル業務を時系列で整理し、顧客価値に直接つながる活動と、間接的にそれを支える活動を可視化する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 宿泊部門の運営管理**
 宿泊部門において、ホテルの中心となるサービスと運営効率・生産性との関係を理解する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 料飲部門の運営管理**
 アップ形式とメニュー選択型レストランを比較し、料飲部門における経営設計の違いを考察する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 収益管理(レベニューマネジメント)**
 収益管理を、価格調整そのものではなく、需要構成を通じて結果的に労働資源配分に影響を与える経営判断として理解する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 管理会計(ホテル統一会計基準)**
 管理会計を通じて、ホテル事業における付加価値創出と分配の構造を読み解く。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 顧客管理**
 顧客管理を、関係構築そのものではなく、限られた資源をどの顧客に配分するかという経営判断として捉える。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 販売管理**
 販売チャネルや販売方法の違いが、現場の労働生産性や業務負荷に与える影響を考察する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 施設管理**
 施設・設備を、単なるコストではなく、生産性と付加価値の両面から評価する視点をも身につける。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 危機管理**
 危機対応を通して、平常時に設計された生産性・組織・意思決定構造の妥当性を検証する。
 予習内容：事前に提示する資料等に目を通し、概要を把握した上で講義に出席する(60分)
 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めた上でミニットペーパーの作成に取り組み(180分)
- 人材管理**
 ホテル事業における付加価値創出の源泉としての人的サービスを捉え、従業員満足高め離職を防ぐ人材管理の重要性を理解する。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ホテル事業を通して、財・サービスの流通構造と顧客行動を経済的・社会的視点から理解し、付加価値創出と生産性向上を実現する経営判断力を養う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中にresponを活用して、履修生から意見、コメントを広く集めることがある。
 課題の提示および提出にICTを使用する。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 教員はホテル運営現場(宿泊部門、営業部門、管理部門)経験、およびチェーンホテル本部における海外ホテル運営管理業務に携わった実務経験に基づいて、ホスピタリティ、サービス、宿泊事業等に関する学生の学修意欲に応える。

備考

14回授業は外部講師の都合により授業計画を変更する可能性がある。